

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	さんぼく森のなかよし学童保育所	評価対象年度	令和元年度
指定管理者名	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	所管課	山北支所地域振興課
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	評価者(課長)	斎藤 一浩

①事業実績

利用実績	学童保育所 年度末在籍児童数 38名 延べ利用者数 7,604名 子育て支援センター事業 延べ利用者数 1,894名(大人 894名、子ども1,000名)
サービス向上の取り組み	月刊通信の配布及びホームページや広報物への掲載により学童保育や子育て支援センターの活動の様子を知らせた。また利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、学童保育所保護者を対象にアンケート調査を実施した。自主事業として、おやつ会計、グループホームとの交流・ボランティア、お泊り会、いも煮会、クリスマス会、こどもまつりなど多彩な活動を行った。

②管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (年度)	前年度 (年度)	当該年度 (令和元年度)	合計	備考
収入	指定管理料		20,848	20,848	基本協定額:104,395,642円
	利用料金		2,235	2,235	
	自主事業収入		728	728	月会費、行事参加費
	事業参加費		3	3	子育て支援センター講座参加費
	計			23,814	23,814
支出	管理経費		22,266	22,266	
	(うち人件費)		17,463	17,463	
	(うち光熱水費)		1,594	1,594	
	(うち修繕費)		542	542	
	(うち委託料)		1,074	1,074	
	自主事業費		729	729	
計			22,995	22,995	
差引			819	819	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	5	10.0
	(評価理由)	ホームページや広報物に事業の実施状況を掲載し広く開示するとともに、学校・保育園等関係機関との連携・交流を図った。また、支援員の資質向上のため、学習会の実施、情報誌の定期購読、指導員同士の緊密な情報交換・打合せを行った。			
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか 業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか	10	5	10.0
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか	8	5	8.0	
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	5	4.0	
(評価理由)	平常時の開設のほか、3月の感染症拡大防止措置による臨時休校の際も、終日開設の対応を適切かつ迅速に行った。また、多彩な自主事業を実施し、地域住民や関係機関等にも参加を呼び掛けたり、老人施設を慰問するなど、地域との積極的な関わりの中で児童の育成を行った。その他、利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、保護者を対象にアンケート調査を実施した。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか	8	5	8.0	
(評価理由)	光熱水費の節減に努め、適正に執行していると判断できる。また、収支の管理についても適切と判断できる。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由) 学童保育については、児童支援員3人のほか3人の加配支援員を配置、また子育て支援センターについても有資格者を含む必要な保育支援員を配置し、事業の運営にあたった。また、避難訓練や施設の安全点検、個人情報保護への対応など、児童の安心・安全のための取り組みを適切に行った。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	5	4.0
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 空調機器やボイラー設備、自動ドアなどの老朽化による故障・不具合が相次いだが、修繕や応急的な対応を適切かつ迅速に行った。				

④総合評価

評価点合計	95.6	評価ランク	S
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

利用児童の安全保育と健全育成を第一に考えて、地域との交流や自然・文化体験を取り入れた様々な活動に取り組んでおり、高く評価できる。学童保育所の統合・移転により今年度から新しい施設での運営を開始したが、旧施設からスムーズに移行し、利用児童に安心感のある保育を提供することができた。また、子育て支援センター事業も、工夫を凝らして利用者のニーズに応えた。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

旧保育園施設のため、屋内の部屋数が多く園庭も広いので、事故がないよう十分注意してもらいたい(今年度、支援員の目の届かない場面で児童の問題行動の事案が1件発生した)。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。